



「三重ぐるり」のコーナーでは、毎号テーマを1つ設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今号のテーマは【障がい者雇用】。「障がい者がやりがいを持って、楽しく自分らしく働けるように」「自分に合った働き方を見つけ、自立した生活をしていけるように」「就労の前の不安や悩みに寄り添えるように」など、それぞれの団体の想いを県内各地の市民活動（支援）センターを通して集めました。

特定非営利活動法人 ^{こむ}呼夢・フレンズ

情報提供：四日市市なやプラザ



餃子の製造

障がいの有無にかかわらず、誰もが持てる力を発揮し、助け合い、認め合いながらともに働く場所を作りたいと、「作業所来夢」と「呼夢農場」を運営しています。

「作業所来夢」の軸製品である餃子は、「呼夢農場」の低農薬野菜を使用し、「四日市まるごと地域ブランド」にも認定されています。2年前からキッチンカーに餃子を積み込み、スーパーの軒先やイベントに出動しています。高齢者施設のお祭りではお年寄りがこちらとの交流を喜んでくださるので、メンバーたちも張り切って接客します。

「呼夢農場」は、新鮮野菜に加えて乾燥野菜や惣菜などの加工品づくりにも力を入れ始めました。「作業所来夢」「呼夢農場」とも、障がいのある人たちが積極的に地域と関わりながら働けるよう工夫し、活動していきます。



障がいのある人たちの暮らしが、仕事を通して豊かになるよう、地域の一員として安心して暮らせるよう、夢を共有してその実現に努めています。ぜひお力をお貸しください。賛助会員さん、餃子を買ってくださる方、ボランティアさん、大募集中!! <http://comfriends.nobody.jp>

四日市市大井手3丁目 15-19

☎ 059-355-1515 ✉ mariho@sweet.ocn.ne.jp

特定非営利活動法人 しろこワークス

情報提供：鈴鹿NPOサポートセンター



楽しく作業しているときの様子

私たち特定非営利活動法人しろこワークスは、就労継続支援B型事業所として障がいを持たれている人たちに就労の機会を通じて、働くことに対する知識や能力の向上を目指しながら、地域との交流も視野に入れて利用者が自立した社会生活を営めるように活動しています。現在、風光明媚な鈴鹿市白子町にて、近隣企業の電気製品等を梱包する作業や車のシートの縫製作業を請け負うとともに、畑での農作物の栽培などを主に行っています。それぞれ障がいを持っている人の特性に配慮しつつ、各人の個性や長所を活かすようにみんなが持ち備えている可能性を伸ばすことができるよう支援に努め、楽しくのびのびと作業ができるような環境づくりを心がけています。また、近隣地区で行われる「ふれあい広場鈴鹿」や「就労マルシェ」などいろいろなイベントにも参加したり、季節に応じた行事などもみんなでお楽しみしています。



ここで働いている人たちは、地域社会の一員として誇りを持って作業をしています。施設の利用をお考えの方、またそうでない方もいつでも気軽に見学に来てみてください。

鈴鹿市白子町 1817-1

☎ 059-388-0627 ✉ shirokow.1817-1@r6.dion.ne.jp

伊賀みのりの里

情報提供：伊賀市ゆめぼりすセンター



「花咲かふえ」で調理・接客に携わる道山洋子施設長、道山みなみさん、中田亜耶美さん

「2年以内で企業への一般就労を！」を目標として、職業探しから職業定着までを支援する事業を行っています。就労への必要な知識や能力を身につける、いくつかのサポートプログラムの中に、伊賀名物「かたやき」の製造補助作業があります。観光中心地にある事業所の立地・忍者の里伊賀という地域の特産品製造に携わることにより安定した就労にもつながればと考えています。また、関連施設「花咲かふえ」における調理補助、接客、清掃等の「店舗実務」および、オリジナル商品「花咲かりん」等の各種商品の包装・袋詰め・ラベル貼りや、イベントでの販売等の「商品販売管理」に関わる作業実務は、さまざまな「仕事」を実働的に経験し、それぞれの障がい者が自立し、自分に合った働き方を見つけられるプログラムです。就労支援に入る前の段階として、心の不安・悩みを持つ方、ひきこもりがちな方の「働きたい意志」の支援にも、相談者の心に寄り添いながら進めています。



～障がいがあっても、地域の人とともに働きともに暮らしたい～そんな思いの皆が主役の伊賀みのりの里です。事業所は、忍者フェスタ・上野天神祭など伊賀観光の中心地にあり、地域の行事にも積極的に参画しています。

伊賀市上野中町 2993 ☎ 0595-22-0710 FAX 0595-22-0705

✉ mail@kamonworld.jp

特定非営利活動法人 稲初クラブ

情報提供：津市市民活動センター



落語ができる利用者さまに、披露する機会を提供

県内各地から通う20代を中心とした若者が利用しています。B型作業所と並行して、「ボラワーク」というシステムを設けています。「ボラワーク」は個人によって異なる「働きたいけれど上手く働けない」その理由を、自分を見つめることで明確化し就労につなげるためのシステムです。

「自分を見つめる」ために、就労経験としてたくさんの作業を用意しています。その作業の中から、自分に合うものを見つけ、取り組んでもらうことで個性を活かした就労につながることを目指しています。個々人に合った就労につなげるために、利用者の皆さんと、半年のペースで次のステップへ進めるかを確認し合ったり、企業や他団体と連携して仕事体験の場を作ったりしています。

居場所としてのスペースとして、就労への機会を積極的に得られる場所として、設立から3年目を迎えた今後も、意欲的に新しい作業を取り入れて、個性を活かす就労を目指していきます。

ひと言
PR!

さまざまな内職や草刈り、農作業、テープ起こしなどの体験を通し、就労に向けての意欲や力をつけていく場所としてご利用ください。「個性を活かす」「得意分野を見極める」ために実践の場をどんどん設けていきます。

津市稲葉町 776

☎ & FAX 059-252-3611 ✉ inahatsu@kxd.biglobe.ne.jp

NPO法人 松阪しょうがい者支援センター・ポケットハウス

情報提供：松阪市市民活動センター



地元企業のユナイテッド三重（青果仲卸業）から玉ねぎをネットに詰める作業を受託

NPO法人松阪しょうがい者支援センター・ポケットハウスは、障がい者の就労継続支援B型事業所を運営しています。精神・身体・知的障がい者の各3～4名の10名程度がそれぞれの特性やニーズに合った仕事を担っています。

「自分らしく、楽しく、やりがいをもって仕事してもらいたい」と理事長の池口充代さん。そのためにさまざまな工夫があります。例えば、生活環境に合った働き方ができるよう、送迎を1日4～5回行うことで短時間の就労も可能にしています。また医療機関や相談支援専門員との連携も強く、日中一時支援、生活介護なども行っています。障がい者1人に対するスタッフ数が多く、きめ細やかなケアができるのが特徴です。

障がいがあることで、人として当たり前のように生きることが難しくされている人も多くいます。そんな中で障がいのある人が生きやすい社会にするために、行政に問題提起をしたり、市民へ情報発信をしたりもしています。ポケットハウスは、障がい者にとってかけがえのない居場所であり、また地域社会とつながる場ともなっています。

ひと言
PR!

お手持ちの名刺に障がい者が点字を刻印させてもらう事業も行っています。1枚20円、50枚から承っています。ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

松阪市高町 277-13 ☎ 0598-53-4600

NPO法人 いせコンビニネット（いせ若者就業サポートステーション）

情報提供：いせ市民活動センター



就労継続支援事業所アイルで障子張りの仕事をしている様子

私たちの周りでは、なかなか就職できずに苦しんでいる多くの若者がいます。また、何らかの障がいを持ちながらも、みんなと一緒に働きたいと思っている方もたくさんいます。当法人は厚生労働省の認定事業である地域若者サポートステーション事業を実施運営しており、就職に不安があるなどのさまざまな課題を持っている若者の就職相談を行っています。その相談者の中には障がいを持っている方や、心の病気などでなかなか就職できない若者も相談に来ます。そのため、就労継続支援事業を立ち上げて、障がいを持つ方も支援をしていく仕組みを構築しようとしています。就労継続支援事業所は、「アイル（I'll）」という事業所名を付け、自分自身で自立していつてほしいとの思いで運営をしています。障がいを持つ人持たない人に関係なく、自立に向けたワンストップ型の支援を目指しています。

ひと言
PR!

IT支援によるまちづくりでスタート、現在では、いせ市民活動センターの指定管理による地域のNPO支援、若者の就労支援などさまざまな活動を通じて、地域がより豊かになることを目指しています。

伊勢市岩淵1丁目 2-29

☎ 0596-65-6603 ✉ spst@e-ise.net